

ふくしまの森林文化調査カード

No.43

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 農村歌舞伎の舞台	(ふりがな) のうそんかぶきのぶたい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	檜枝岐の舞台(ひのえまたのぶたい)		
伝承地域	南会津郡檜枝岐村		
由来(年代)	檜枝岐の舞台は同村字居平の鎮守神の境内にある農村舞台。江戸時代に建築されたが、1893(明治26)年の村の大火で焼失し、現在の建物は明治30年代の再建である。		
内容	檜枝岐歌舞伎は、元来鎮守神の祭礼に歌舞伎を奉納するという形で上演され、村民もこれを楽しむというものだった。したがって建物は神社に向かって建てられ、拝殿のような形態をとっている。舞台は、正面から見ると上部に破風があり、入母屋造に見えるが、前面にひさしがある切妻造で、軒端の様式がこの地方独特であり、「兜造」と呼ばれる。この建築様式は、奥会津によく見られる曲屋造の民家と似ており、他の農村舞台とは異なったものである。舞台中央は、固定式二重になっており、二重の前後には唐紙を入れることができる。2004(平成16)年3月に国立劇場公演を行った際には、劇場側で檜枝岐の舞台そっくりの舞台装置をつくり、そこで上演された。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	国指定重要有形民俗文化財:1976(昭和51)年8月23日指定		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 檜枝岐村教育委員会(Tel:0241-75-2342)		

【フリーフォーマット】

キーワード

檜枝岐の舞台(国指定重要有形民俗文化財)



写真提供:檜枝岐村教育委員会